

第 6 次廿日市市総合計画の振り返りについて

1 趣旨

令和 3 年度からスタートした第 6 次廿日市市総合計画 後期基本計画（以下「現計画」という。）では、効率的かつ効果的に施策・事業を推進するため、各施策方針に施策の目的と成果指標を設定し、施策評価の手法により進行管理を実施している。この間、施策評価結果は、市議会への提供や市民への公開を通じて、一定の説明責任を果たすことができています。

次期廿日市市総合計画（以下「次期計画」という。）においても、施策を着実に推進し、基本構想に掲げる将来像を達成するため、引き続き施策評価の手法により進行管理を実施し、効果検証を行う。

こうしたことから、策定後の進行管理を見据え、行政経営の観点から、現計画の体系に関する課題と次期計画への対応方針を次のとおり示す。

また、今後策定に着手する次期計画の前期基本計画は、10 年後の将来を見据えつつ、各施策の現状や課題なども踏まえ、策定を進める予定であり、参考に、現計画の進捗状況について、「3 現計画における成果指標の達成状況について（令和 5 年度時点）」でまとめる。

2 現計画の課題と次期計画での対応方針

(1) 現計画の課題

現計画は、まちづくりの基本理念、将来像を掲げ、その実現に向けて、方向性、重点施策、施策方針で体系化し、令和 4 年度から施策評価の手法により、進行管理を実施している。

施策評価は、施策の目的が達成されているか、成果指標の達成状況等をもとに分析、課題を抽出し、今後の方策と経営資源の配分を検討する仕組みである。

このため、各施策が将来像達成に貢献しているかを客観的に検証する必要があるが、これまで 3 か年施策評価を実施した結果、より効果的な運用に向けて、主に次の点に体系的な課題があると考えている。

ア 別紙 1 のとおり、現計画は、4 つの方向性、14 の重点施策、34 の施策方針で体系化しているが、方向性、重点施策、施策方針の間で、論理的なつながり（目的と手段）が弱いものがある。

イ 施策方針の大きさにばらつきがある。

※ 例えば、「地域共生社会の実現に向けた地域づくりと暮らしの安心確保」には、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、生活困窮者支援、多文化共生の推進など、多くの施策・事業が含まれている一方で、「観光情報の発信」には、観光情報の発信に関する事業のみとなっている。

ウ 方向性や重点施策（上位の階層）に成果指標が設定されていない。

(2) 次期計画での対応方針

課題を踏まえ、次期計画を実効性のある計画とするため、主に次の点において改善を図る。

ア 分野別（同じ行政課題に対応する施策の集まり）の計画体系にすることで、各施策（施策方針）が将来像実現に至るまでの過程を明確にする。

イ 各分野の「10 年後に目指す姿」を起点に、そこから逆算して「5 年後に目指す姿」と実現に向けた施策を体系化することで、施策の大きさがある程度そろえる。

ウ 「分野」に中長期的な成果を、「施策（施策方針）」に直接的な成果を設定し、施策が分野の目指す姿に貢献しているか、分野が将来像実現に貢献しているかを確認することで、適切な経営資源の配分を行う。

3 現計画における成果指標の達成状況について（令和 5 年度時点）

次表は、別紙 1 で示した重点施策の単位で、各施策方針に設定した成果指標の進捗状況をまとめたものである。

後期基本計画に定める成果指標 101 のうち、すでに目標値を達成している、または令和元年度数値から向上した指標は 54 で、全体の 53.5%を占める。

引き続き、施策評価の手法により進行管理を行い、目標達成に向けて、効率的かつ効果的に施策・事業を推進するとともに、各施策の現状や課題を的確にとらえ、次期計画の前期基本計画に反映していきたいと考えている。

(重点施策単位における進捗状況)

方向性	重点施策	成果指標 達成状況
1 暮らし を守る	1 健康でいきいきと生活できるまちをつくる 超高齢社会に対応したまちづくりを進め、健康寿命の延伸を図る	33.3% (1/3)
	2 移動しやすく便利なまちをつくる 交通環境の整備や拠点性を高めるまちづくりを行う	38.5% (5/13)
	3 安全で安心なまちをつくる 防災・減災・防犯への対策やインフラの長寿命化、空き家対策	50.0% (5/10)
	4 いつまでも住み続けられるまちをつくる 地域共生社会の実現に向けた地域づくり、地域医療の推進	50.0% (3/6)
	5 豊かな自然を次世代につなぐ 脱炭素社会・ごみ減量化の推進、自然環境の保全	62.5% (5/8)
2 人を育 む	1 子どもたちがたくましく自立し確かな学力を身につける 社会のニーズに応じた教育、学校教育環境の充実、居場所づくり	54.5% (6/11)
	2 郷土の歴史・文化を次世代につなぐ 歴史・文化の保存、継承、活用	100.0% (3/3)
	3 未来を担う人づくり 子育て環境の整備、地域と学校の協働	50.0% (5/10)
3 資源を 活かす	1 ライフステージに応じた支援をする 多様な働き方の推進、男女共同参画の推進	66.7% (2/3)
	2 地域のまちづくり活動を支える環境をつくる 地域自治の支援、まちづくり活動の推進	40.0% (2/5)
	3 地域資源の活用を図る 商工業・農林水産業の振興、地域資源のブランド化	71.4% (5/7)
	4 観光ブランド力の向上を図る 観光振興	80.0% (4/5)
4 新たな 可能性に 挑む	1 はつかいちの新たな魅力を創造する 都市活力創出基盤・宮島口地区の整備、移住定住の推進	100.0% (7/7)
	2 市民が主役！チャレンジを応援する 生涯学習・文化芸術の振興、スポーツ推進	40.0% (4/10)
合計		53.5% (54/101)

※詳細は、別紙2のとおり